

**シートベルト・チャイルドシート着用等の調査結果をお知らせします**

春の全国交通安全運動期間中を中心に、県内のシートベルト・チャイルドシートの着用等の状況について調査を行った結果、前回調査と比べて後部席のシートベルト着用率とチャイルドシートの使用率は増加し、それ以外の着用率はわずかに低下しました。

1 調査結果（調査実施期間：令和5年5月～6月中）

(1) シートベルト：調査箇所 117か所（県内市町村の地域内交通の多い地点）

	運転席	助手席	前席合計	後部席
調査数	12,593人	2,106人	14,699人	446人
着用数	12,514人	2,068人	14,582人	367人
着用率	99.4%	98.2%	99.2%	82.3%
前回調査比	-0.2p	-0.5p	-0.2p	+4.5p
[参考]過去5回平均	99.6%	98.6%	99.4%	77.3%

(2) チャイルドシート：調査箇所 20か所（保育園、商業施設等）

調査数	775人
使用数	642人
使用率	82.8%
前回調査比	+1.0p
[参考]過去5回平均	82.3%

※ 前回調査：令和4年秋（9月～10月）
 ※ 過去5回調査：R2春・秋、R3春、R4春・秋
 ※ p：ポイント
 ※ 調査は77市町村において実施

2 考察

(1) シートベルト着用率

- ・後部席の着用率は向上しましたが、運転席、助手席は前回調査時よりポイントがわずかに低下しました。

**➡ シートベルトは全ての席で着用が義務付けられています。
 シートベルト非着用者の致死率は、着用者の約22.6倍(*)です。(*R4 県警察本部資料)
 まさに「命綱」です。全席着用し、守れる命を確実に守りましょう。**

(2) チャイルドシート使用率

- ・前回の調査から1.0ポイント増加し、過去5回の平均使用率より高い結果となりました。

**➡ 幼児（6歳未満）を乗車させる時はチャイルドシートの使用が義務付けられています。
 将来を担う子どもたちの命を守るため、大人がルールを教えましょう。**

【調査結果詳細】 調査結果の詳細は、下記ホームページをご覧ください。

<シートベルト調査結果>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kurashi-shohi/documents/r5haru-beltkekka.pdf>

<チャイルドシート調査結果>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kurashi-shohi/documents/r5haru-childkekka.pdf>

（問合せ先）
 県民文化部くらし安全・消費生活課交通安全対策係
 （長野県交通安全運動推進本部事務局）蓑部、小林
 電話 026-235-7174(直通)
 026-232-0111(代表) 内線 2848
 F A X 026-235-7374
 電子メール kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp